

取扱説明書

この取扱説明書はご使用前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

この取扱説明書はいつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

スマートフォンホルダー WIDE OPTION レーダー用サイドフックセット

商品NO.

95202

■ ご使用前に必ず内容をご確認ください ■

この商品の使用をもって本書記載の内容全てを理解・承諾したものとみなします。ご使用前に必ずご確認ください。

■ 禁止 ■

- 走行中にスマートフォンやカーナビ、携帯電話、レーダーなどの画面を注視したり、電話機能を使用したりすることは法で禁止されており大変危険です。前方不注意による重大な事故の原因にもなりますので、法令を遵守し安全運転を心がけてください。
- 設計重量制限(300g以下)を超える機種の装着は不可。
- 商品および装着品が車体部位など他部品に接触する取り付けは不可。
- ウイングを閉じる際は、必ずサイドフック固定シム(赤色の部分)を押して閉じてください。フック部分を押しとフックが破損します。

■ 実施 ■

- 商品開梱時や取り付け・取り戻し時に、パッケージや商品の端やバリエーションで予めせめぎめや事故が発生する場合がありますので十分ご注意ください。
- 商品開梱の際は、構成部品や外観に不備・異常がないことを必ずご確認ください。万一、お欠けの点があればご使用前のこの段階でお買い取りの店様に連絡ください。
- 商品の調整可動部や付属品を有効に活用し、お客様お手持ちのレーダーと兼って正確な装着状態となるよう各部分をしっかりと使用を開始してください。
- 商品の可動部の調整、部品の組み換え、車体への取り付け、機種装着は全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。
- 装着機種の外力や雨水などから保護する機能はありません。装着機種の傷つき・防水・防塵対策などは全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。
- この商品および装着機種の蓋蓋防止対策は全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。

- 舗装・未舗装路を問わず、踏面の段差を乗り越える際に発生する衝撃の度合いによっては、隠すもロックが外れる場合があります。走行機動対策や商品(構成部品含む)、装着機種の蓋蓋防止対策などは全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。
- 取り付け後約100km走行しましたら調整可動部や固定部など各部を点検し、ボルト類の締め直しを行ってください。その後は約500km毎に定期点検・増し締めを行ってください。これら作業を怠ると予期せぬ不具合や事故発生が発生する場合があります。

- この商品の構成部品は金属や樹脂を素材としております。ご使用保管環境によらずとも経年変化や使用損耗により素材劣化(サビ含む)が進行し、部品破損など予期せぬ不具合や事故発生が発生する場合があります。走行使用前に商品状態を毎回必ず点検し(調整可動部やボルト類が腐りやすいため)箇所などは特に念入り)に、異常があれば適宜新品交換(部品または商品)してください。
- 走行使用時に商品自体や装着機種に異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所に停車せよ。異常箇所を点検してください。

- 舗表・未舗装路を問わず、踏面の段差を乗り越える際に発生する衝撃の度合いによっては、隠すもロックが外れる場合があります。走行機動対策や商品(構成部品含む)、装着機種の蓋蓋防止対策などは全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。
- 取り付け後約100km走行しましたら調整可動部や固定部など各部を点検し、ボルト類の締め直しを行ってください。その後は約500km毎に定期点検・増し締めを行ってください。これら作業を怠ると予期せぬ不具合や事故発生が発生する場合があります。

- この商品の構成部品は金属や樹脂を素材としております。ご使用保管環境によらずとも経年変化や使用損耗により素材劣化(サビ含む)が進行し、部品破損など予期せぬ不具合や事故発生が発生する場合があります。走行使用前に商品状態を毎回必ず点検し(調整可動部やボルト類が腐りやすいため)箇所などは特に念入り)に、異常があれば適宜新品交換(部品または商品)してください。
- 走行使用時に商品自体や装着機種に異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所に停車せよ。異常箇所を点検してください。

- 走行使用時に商品自体や装着機種に異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所に停車せよ。異常箇所を点検してください。

- 走行使用時に商品自体や装着機種に異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所に停車せよ。異常箇所を点検してください。

- 走行使用時に商品自体や装着機種に異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所に停車せよ。異常箇所を点検してください。

- 走行使用時に商品自体や装着機種に異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所に停車せよ。異常箇所を点検してください。

■ 本商品の特徴 ■ ★部はデイトナ仕様のみの特別装備です。

- IH250D/550DスマホホルダーWIDE(92602/92601)の標準サイドフックと交換することで、当社MOTO GPS RADAR(73344/77777/94420/94419)を固定することが可能。レーダーの装着が容易に行えます。フックの内側に付いた使用済、シリコンゴム2本、MOTO GPS RADAR LCD3.0(L)以外を使用する際に必要なセンターパッド2枚(93127)付属。
- 重量300g以下、MOTO GPS RADAR LCD3.0(L)を使用する際は、センターパッドをねじり換えて高さ調整して装着してください。

■ 対応商品 ■

商品名	品番	取扱価格
バイク用スマートフォンホルダーWIDE IH-250D(クイック)	92602	¥4,300
バイク用スマートフォンホルダーWIDE IH-550D(リジッド)	92601	¥4,300

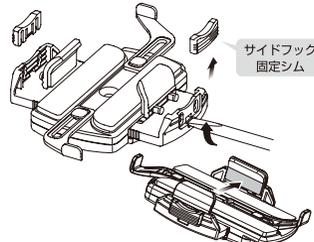
■ 商品構成 ■



■ 標準サイドフックの取り付け ■

ウイングを完全に、サイドフックをパッド側から真っ直ぐに押しさへつけ、固定シム(赤い樹脂部品)の下に設けられたMAYSTADTライバ(別途用意)の先端をさへ込み、左右に軽くこじりながらその部品の固定嵌合を外し、シムとサイドフックをウイングから取り外します。

※作業は慎重に行ってください。サイドフックのピンが破損する原因となります。



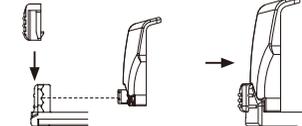
※サイドフックをパッド側から真っ直ぐに押しさへつけながら固定シムを外す。

2017/01/13

■ レーダー用サイドフックの取り付け ■

サイドフックをパッド側から真っ直ぐに押しさへつけ、外側に飛び出したピンに固定シムを元通りに組み付け、固定します。

固定後は各部品に異常がないことを必ず確認してください。



山と谷がすれている。押し込み/挿入が浅い、横している状態でシムを組み付けると、サイドフックのピンが折れます。

※無理な作業は厳禁です。部品を破損させる前に作業から最初に見てください。

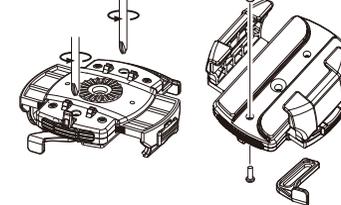
■ スライドアームの取り外し ■

プラスチック(別途用意)を使用して本体裏側にあるアーム固定ねじ(中央の白亜鉛メッキねじ)を取り外し、スライドアームを取り外します。

※取り外したねじは保持シート、スライドアームは紛失しないよう保管してください。

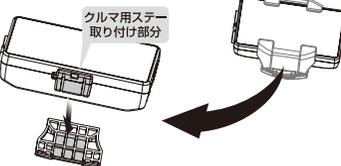
左右の黒いねじは絶対に緩めないこと

※本体が分壊してしまいます。



■ レーダーの取り付け ■

MOTO GPS RADAR LCD3.0(94420)の本体底面のクルマ用ステータ取り付け部分とストラップホルダがサイドフックの内側の溝にはまるように取り付けます。(下参照)



MOTO GPS RADAR /LCD/EASY は/ドシートを適宜使用

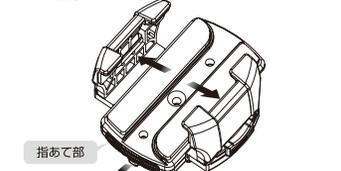
MOTO GPS RADAR(73344)、MOTO GPS RADAR LCD(77777)、MOTO GPS RADAR EASY(94419)を固定する場合は、あらかじめセンターパッドをねじり換えて高さを調整してから取り付けてください。(右図参照)



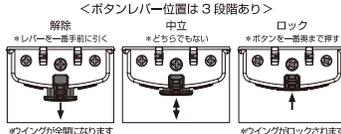
2017/01/13

■ ウイングの開閉操作 ■

ウイングロック&リリースボタンのレバーを一番手前に引出すことで、左右ウイングは全開になります。



開いた左右ウイングのサイドフック固定シム部分(赤い樹脂部品)を内側に押し込むと、ウイングは閉じられます。ウイングを閉じた後ボタンを奥まで押し込み、必ずロックしてください。



※ウイングが全開になります ※ウイングがロックされます

サイドフック部を持ってウイングを開くこと

※ウイングを開く際に隣の人が直接サイドフック部に触ると、ウイングのシム固定部やサイドフックのピンなど破損する原因となります。

ロックした状態でウイングをさらに押し込まないこと

※レバーロックが解除されなくなるため、そのまま使用する機構異常などの原因となります。ボタンを最後まで押し込んでください。

走行使用前に毎回ウイングを確認すること

※ボタンに衝撃を被ると、ウイングを押し込みしつづけてホールドさせた場合は、必ずボタンにロックボタン押し込み動作を忘れずに行ってください。

■ シリコンバンド装着の重要性 ■

シリコンバンドを正しく装着することで、走行使用時の不意の機種脱落を抑制します。ホルダー本体裏側に設けられたバリエーション(上下2箇所)や首飾のクラブのラジエターホール上に設けられたバンド留具により必ず装着し、ホルダーごと機種を巻き付け、確実に固定しなうで使用するください。

シリコンバンドの使用消耗状態は走行使用前に毎回必ず確認してください。亀裂の入ったバンドでの商品使用は厳禁です。選好にバンドを新品交換してください。



販売元 株式会社 デイトナ 4437-0226 神奈川県厚木市一宮4805 0120-60-4955 (予約専用)

製造元 MINOURN 株式会社

※本書の記載内容の一部または全部を無断転載することを禁ず。

2017/01/13